

# 白神通信



【冬の藤里駒ヶ岳】（提供：白神山地世界遺産地域巡視委員 山田尚樹）

## [contents]

- ◆ つばめの森保育園 ～森林環境教育～ . . . . . P2
- ◆ 冬のニホンジカ生息地域調査 . . . . . P3
- ◆ 令和3年度白神山地世界遺産地域巡視活動を振り返って  
～貴重な体験と白神を思う～ 白神山地世界遺産地域巡視員 山田尚樹 . . . P4
- ◆ 私の白神山地 白神山地世界遺産センター(藤里館)自然アドバイザー  
白神山地世界遺産地域巡視員 菅沼 慶太 . . . . . P6
- ◆ 編集後記 . . . . . P8

藤里森林生態系保全センター  
令和4年3月10日 No.102

## つばめの森保育園 ～森林環境教育～

令和4年1月7日(金)、一般社団法人 白神コミュニケーションズ主催の森林環境教育で、つばめの森保育園の園児12名が来所しました。

はじめに展示室で、白神山地周辺で見られる花の紹介や、地図が飛び出て見える立体鏡の紹介をすると、園児達は見たことがある花を見つけたり、立体に見える地図に驚いたり、楽しく学ぶことができたみたいです。



白神山地に咲く花の説明を受ける園児達



初めて見る立体鏡にビックリ！

次に実習室で、輪切りにした木に絵を描いてコースターをつくる木工クラフト体験をしました。園児達は、自分の顔や動物を描いてコースターを作り、楽しく木材とふれあうことができました。

最後に、昔の写真で丸太を運ぶ風景を見た主催者から、実際に園児達に木を引っ張らせてみたい、と提案があり急遽、伐根を用意しロープで括り引っ張らせてみました。一人だけでは伐根は全く動かず、園児全員で引っ張り雪の上での綱引きに一喜一憂していました。当時の林業の大変さがよく分かったと思います。

当センターでの体験を終了し、園児達は自然とのふれあいをテーマに「ケツぞり」体験のため藤里町営スキー場へと向かいました。園児達のバスを見送りながら、自分も「ケツぞり」に参加したいと心の中でつぶやいていました。

森林環境教育について、藤里センターのホームページでも紹介していますので、そちらも併せてご覧頂ければと思います。(谷川)

(<https://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/syo/huzisato/kyositu/kankyokyoku.html>)



輪切りに絵をかく園児



一人で頑張ってみた園児達



伐根を引っ張る園児達

# 冬のニホンジカ生息地域調査

当センターでは、ニホンジカの生息調査のため国有林にセンサーカメラを設置しています。冬期間については、積雪のため国有林への設置は難しく、越冬箇所と思われる八峰町の民有林について人海戦術により踏査を行ってきました。

今年度は、これまでのニホンジカの痕跡調査や目撃情報、降雪前に撮影された箇所から予測した越冬箇所について、八峰町の協力のもとセンサーカメラを設置することとしました。

痕跡調査については白神通信No.96でも紹介しているので是非ご覧ください。

([https://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/syo/huzisato/sirakami/attach/pdf/kouhou\\_si-75.pdf](https://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/syo/huzisato/sirakami/attach/pdf/kouhou_si-75.pdf))

八峰町の沿岸部は例年であれば積雪が少なく、比較的容易に林内を歩くことが出来たのですが、今年の大雪は八峰町も例外なく一面真っ白で、積雪量も多くスノーシューが大活躍しています。



← 昨年 →  
→ 今年 ←  
八峰町杉林内



センサーカメラの設置のため林内を歩いて行くと、積雪のおかげもあり、動物たちの足跡が大小たくさん見られ、ウサギ、テン？これって犬？などと思いながら、大きな足跡を見つけては、ニホンジカ？カモシカ？これ蹄の跡だよね・・・比較的新しい足跡を見つけ「もしかしてニホンジカ？」と思い、辿っていった先で、何やら視線を感じて脇を見ると、5m位離れたところにカモシカが・・・

少し進むと、一匹のサルが・・・最低でも2、3匹、多いときは相当数の群れで発見するのが常でしたが、仲間はずれにされたのか、一匹で散歩して疲れたのか、逃げることもなくこちらを見つめていました。

今回設置したセンサーカメラはニホンジカ調査のためのものですが、それ以外にもどんな動物が撮影されるのか楽しみにして行きたいと思います。(入山)



奥まで続く何かの足跡、その先には・・・



凄く寒そうなニホンザル



シャッターチャンス逃がし、後ろから(^0^;)

# 令和3年度白神山地世界遺産巡視活動を振り返って ～貴重な体験と白神を思う～

白神山地世界遺産地域巡視員  
山田 尚樹

白神山地世界遺産地域巡視員の委嘱を受け、今年度で4年目となります。

秋田県側の遺産地域を中心に、深雪でアクセスが困難になる1月から2月を除いた時期での巡視をしています。その中で、特に思い出深かった巡視活動についてピックアップしてみました。



大白岳山頂から望む

クマタカ2羽とクマの足跡を確認し、「今日は充実した巡視だった。」と思いながらの下山中、粕毛川源流部を飛んでいるイヌワシを見つけたのです。カメラをザックから取り出す時間を惜しんで、飛翔する雄大な姿を目に焼き付けました。また、9月初旬の粕毛川源流部三蓋沢の巡視で、踏み潰しそうになるほどのイワナが出迎えてくれたことです。私は、粕毛漁協の組合員でもあることから、遺産地域の沢の巡視には特に力が

が入ります。過去に、密漁者の痕跡を発見したこともあり、重点的な巡視を心がけていますが、今シーズンは人の痕跡がまったくありませんでした。密漁者ばかりとは言えませんが、人が自然に及ぼす影響について改めて考えさせられました。

まず、3月初旬、大白岳方面を猛禽類と動物の痕跡探しをメインにした巡視中のことです。これから自分が登る予定の斜面の下で、死んでいるカモシカを見つけました。雪崩の跡はないので滑落したのでしょうか。巡視には危険が伴うことを再認識し、身を引き締めさせられた出来事でした。

次に4月中旬に次郎左衛門岳の巡視を行った際の貴重な出会いの経験です。



核心地域(善知鳥沢)の巡視



緩衝地域(粕毛川大滝)の紅葉

最後は、特に美しさを増す 10 月下旬の遺産地域での巡視です。キラキラと太陽光を反射する清らかな沢の流れ、カエデ類の紅葉と、ブナの黄葉、青く澄んだ秋空とのバランスは格別です。白神は、後世へ残すべき大切な場所なのだとしみじみと感じました。

小岳やニツ森などといった巡視エリア以外では、登山道もなく決まった巡視ルートもないことから、地図を読みながらの

沢と尾根歩きが中心になります。それなりの技術と体力を必要とするので、事前の巡視エリアや巡視ルートの決定、行動を共にする巡視員との事前打ち合わせなど、最も神経使い、体調管理を必要とするエリアと言えます。この先、何年巡視を続けることができるか分かりませんが、体力と技術がある限り活動を続け、白神に関わる一員でありたいと思っています。

### 🗺️ 白神山地世界遺産地域巡視員及び関係者の皆様へ 🗺️

今回の白神通信では、巡視員の山田尚樹さんの協力で記事を書かせています。今後、白神通信を活用し、巡視員及び関係者の皆様の記事(声)を発信していきたいと思っています。原稿依頼、写真提供のご協力をお願いしていきますのでよろしくお願いいたします。



初冠雪の藤里駒ヶ岳 (R3.10.18)

・・・藤里駒ヶ岳の初冠雪・・・

今年度は令和3年 10 月 18 日に確認でき昨年(令和2年 10 月 30 日確認)より 12 日早かった・・・今年は大雪ではあるが、雪解けが早いような気がする? 今年は何んな馬が見えるかな・・・(山内)



# 私の白神山地

白神山地世界遺産センター(藤里館)

自然アドバイザー・白神山地世界遺産地域巡視員

菅沼 慶太

白神山地世界遺産センター(藤里館)に勤め始める前、私の白神山地の印象は「南米のアマゾンやシベリアのタイガの森のように原始的なあこがれの森の一つ」でした。東北の豪雪地帯のブナ林は本当に憧れの場所でした。あれから7年、この森を歩き、この森を知る人々と会い、自ら発信していくことによって白神がただの憧れから多面的な意味を持つようになりました。

白神山地はわかりづらい・・・とよく言われます。広大な山地で、その多くで登山道がなく、また山域には東西南北入口がたくさんある。ブナの森以外に白神山地を象徴する事物がない。またほとんどの場所でアクセスが悪いなどなど。確かにその通りですが、そのことがかえって、味わい深い、一度覗くとハマってしまう素晴らしい山域である証拠のように感じます。またそのわかりづらさが私は大好きです。



小岳山頂で思いを馳せる



冬の藤里駒ヶ岳登山

- 私にとっての白神山地は、
- ・森、川の生き物やその不思議を観察して目を丸くしている子供の目。
- ・一緒に白神山地のことを学んだ仲間と過ごした時間。
- ・稜線や頂上から見下ろす雪の人工林がない静かで広大な森。
- ・一人でカモシカやサル、野鳥、カエルなどにらめっこする時間。
- ・人生で見た中で最高の川を泳ぐ気持ちよさ。

などあげればきりがありません！

私は幸いなことに白神を深く知る巡視員やガイドの先輩や仲間の皆様、山菜やキノコをはじめ山の恵みを楽しむ地域の方々からそのわかりづらい白神を様々な角度から教わることがで

きました。また、このすごい森を守り伝える役割を少しでも担えたかと思うととても誇りに思います。

今春からは白神を離れ、一白神ファンとなって、いつかまた森歩き、そして沢歩きを楽しみたいと思っております。本当にお世話になりました。



菅沼さんは、藤里町自然アドバイザー、東北森林管理局白神山地世界遺産地域巡視員としてご尽力いただきました。菅沼さんの7年の軌跡は、藤里町だけにとどまらず、白神に関係する全ての人々に刻まれたと思います。7年間といった長きにわたり白神山地とお付き合いいただき、また愛していただき大変ありがとうございました。これからは「白神」をよろしくお願いします。(畠山)

(巡視員会議で退任の挨拶をする菅沼氏)

### ★お知らせ★

白神山地世界遺産センター(藤里館)において、3月2日～5月13日まで「白神の冬」「白神の“わ”」展が開催されております。詳しくは白神山地世界遺産センター(藤里館)ホームページをご覧ください。( <http://www.shirakami-fujisatokan.jp/> )

## 森林環境教育のご案内

実施主体が実施する森林教室、林業体験等の活動に対して、国有林をフィールドとして提供します。また、講師として職員の派遣を行います。詳しくは藤里森林生態系保全センターへお問い合わせください。お問い合わせ内容をふまえ、具体的な実施内容、必要提出書類等についてご相談させていただきます。なお、実施内容や業務上の都合により、ご希望に添えない場合がありますので、予めご了承ください。現在新型コロナウイルス感染症防止対策として参加人数等についてはご相談ください。森林環境教育の取組支援については東北森林管理局ホームページでも紹介しています。

( <https://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/sidou/fukyu/kyouiku.html> )



国有林での野外実習



昔の林業についての説明



実習等とセットで木工クラフトも!

## 編集後記

### ～令和3年度を振り返って

令和3年度は、コロナの終息を願いながらのスタートでした。

日々、感染者が減っては、「そろそろ自由に動けるかな?」と思い、増えては、「やっぱり駄目か」と落ち込み、日々コロナの情報に目と耳を向け、どうしたものかと考える毎日でした。

さて、東北森林管理局では、令和3年度重点取組事項として、

1. 公益重視の管理経営の一層の推進
2. 林業の成長産業化に向けた取組
3. 地域振興への貢献
4. 国土強靱化に向けた産地防災力の強化

を掲げ、多様な森林づくり、林業イノベーションの推進、森林空間利用、山地防災力の強化などの取組を行ってきました。

藤里森林生態系保全センターでは、白神山地世界遺産地域の保全管理を主とした取組を行っており、巡視活動、生態系に関する調査、森林環境教育の開催及び支援、白神山地世界遺産地域及び周辺地域での森林ふれあい推進事業の企画、調整、実施を担っています。コロナの影響等もあり、予定されていた森林講座は中止、林道災害等のため粕毛林道が通行止めとなり小岳方面への巡視活動の中止、森林環境教育支援についてもコロナの感染拡大時期と重なり中止や延期になるなど、予定が予定で終わる1年となってしまいました。

このような中、センターでは、例年であれば集中して取り組む事が難しかった、研修棟や岳岱多目的展示施設の整備充実、密とならない森林環境教育プログラムの作成、広報活動に重点を置き取組を行いました。

研修棟及び岳岱多目的展示室の整備については、白神通信No.99、No.100号でも紹介しています。是非、ご覧下さい。

([https://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/syo/huzisato/sirakami/kouhou\\_si.html](https://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/syo/huzisato/sirakami/kouhou_si.html))

令和3年度の取組と言えば、私自身、気にすることのなかった「オオハンゴンソウ」の存在が気になるようになりました。河原や市街地でもよく見かけるのですが、一斉に咲き誇り鮮やかな黄色の集合体は、今は、憎らしくさえ思えます。奥山にも、咲き誇っている「オオハンゴウソウ」の駆除は極めて難しく、人力と根気が必要です。令和4年度は、日々の巡視活動による駆除のほか、林道の被害状況、復旧状況を確認しながら米代西部署との連携や合同パトロールの一環として、「オオハンゴンソウ駆除作戦」ができないかを検討しているところです。

さてさて、何を言いたいのか解らなくなってきたので、令和4年度は「新たな生活様式」のなか、森林環境教育や森林を活用した様々なイベントの実施に向け取り組んで行きたいと思いをはせて編集後記とします。

令和4年度は、いろいろな意味で平和でありますように……



(発行)林野庁 東北森林管理局 藤里森林生態系保全センター



〒018-3201 秋田県山本郡藤里町藤琴字大関添 24-3

TEL:0185-79-1003 FAX:0185-79-1005

<https://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/syo/huzisato/>

